
新たな夢を実現する技術

執行役員 平田 達也 *Tatsuya Hirata*

今年度は第8次中期経営計画の最終年度です。グローバル企業を目指し、「世界のトップブランド」を構築するという大きな目標を掲げ進めてまいりました。

達成したテーマも多々ありますが、第9次中期経営計画に継続するテーマもあり、企業としてやらなければならないことがまだまだたくさんあります。

歴史を振り返ると、1929年の世界大恐慌、1945年の終戦後の大不況、1974年のオイルショック、2008年の金融危機など、山洋電気は何度も大きな波を乗り越えてきました。今年は過去に経験したことがない大きな変化が起こりました。「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」です。世界中にとっても大きなダメージを与え、予想もしなかった環境の変化になっています。この環境の変化をチャンスに変えることは至難の業です。

山洋電気は「環境の変化をチャンスに変える企業体質をつくる」ことを目指し、「第5世代移動通信システム (5G)」、「事業継続計画 (BCP)」、「人工知能 (AI)」、「自動車 (EV)」といった新しい分野に、各々事業部がビジネス展開を図っています。また、医療分野は大きく変化しており、新型コロナウイルス感染症への対策が進められています。その流れのなか、新型コロナウイルス感染者を発見するPCR検査装置やワクチンの開発にかかわる検査装置などに当社の製品が多く採用されています。

このように社会の変化が加速していく現代、私たちは将来の市場環境を見据えた製品開発を進めています。

クーリングシステム事業部では、遠心ファン「San Ace C70」9TDタイプ、高静圧ファン「San Ace 40」9HVAタイプや高性能防水ファン

「San Ace 60W, 80W, 92W」9WPA タイプの開発をし、パワーシステム事業部では、風力発電・水力発電システム用整流器ユニット「SANUPS W75A」や防災用通信機器などに適しているリチウムイオン電池を搭載し屋外設置ができる「SANUPS N11B-Li」の開発をし、サーボシステム事業部では、位置決め機能内蔵 AC サーボアンプ「SANMOTION R 3E Model」やモーションコントローラ用ワイヤレスアダプタ 3A「SANMOTION C」の開発をし、各々事業部がグローバル市場に新しい製品を展開しています。

第9次中期経営計画では、「殻を破る」といった大きなテーマがあります。殻といっても、小さな殻や大きな殻、とても硬い殻もあります。今まで培ってきた施策やこれからおこなう施策で「変化しているグローバル市場の波のなかで施策の成果を活かす」ことを成し遂げていかなければなりません。

これからも私たちは、第8次中期経営計画のテーマである「新製品」、 「ボーダーレス」、 「リアルタイム」、 「工場の自動化」をさらに推し進め、 「世界一の製品開発」を大きな柱とします。山洋電気はマーケティング（市場戦略・販売戦略）、イノベーション（技術革新）の取り組みをさらに強化し、お客さまとの関係性（絆）を大切に育み信頼を得て、新しい柱（新規顧客）の構築と今の柱（既存顧客）を太くすることをしなければなりません。お客さまの「悩み」や「困っていること」をお聞きし、その解決策として、製品を提供します。お客さまが求めているものを知り、お客さまのための製品開発を強化し、製販一体となり社会貢献することで、「新たな夢を実現する技術」を世の中に提供し続けてまいります。